

## 2024年度 第3回環境科学部フィールドスクール (2024/11/16)

### 「森林ボランティア (竹林整備)」が行われました。

2024年11月16日(土)第3回フィールドスクールでは、長崎県森林ボランティア支援センターの支援のもと、「森林ボランティア (竹林整備)」というテーマで実習を行い、14名の学生(引率教員2名)が参加した。

竹は、タケノコなどの食用の他・竹材・竹皮・竹炭など広く利用されてきた。しかし、近年、輸入タケノコやプラスチックの普及、また山村地域の高齢化により竹林は放置され拡大し、侵入竹等の影響から森林全体の公益的機能の発揮に支障が生じている。本フィールドスクールでは、昨年度と同様に、支援センターのスタッフに竹林の現状及び竹林の適正な管理活用についてレクチャーを頂いた後(写真1)、手ノコを用いて竹林の整備を体験した。竹の除伐(不要な竹を切り倒す)と林床に放置された竹の除去を中心に行い、タケノコが生えてきやすい環境整備を行なった(写真2)。その後、枯竹を薪として利用して湯を沸かし、うどんを作り(写真3)、昼食をとって終了した(写真4)。

本フィールドスクールは、森林・竹林問題への対処を身体的に体験する機会として提供している。どの学生も、フィールドスクールの終了時には、かなり慣れた様子で手ノコの作業を行っていた。また、昼食を作る際の薪割りや火おこしなども、参加者には良い経験と思われる。ケガやトラブルなく終了し、楽しい体験・昼食の機会を得られたのは、支援センターのスタッフの方々の行き届いた手配と適正な安全管理の賜物であった。



写真1：竹林についてのレクチャー



写真2：竹の除伐・林床整備作業



写真3：竹で湯を沸かしうどん作り



写真4：集合写真